

「現地を訪問して想うこと」

私のモットーは「百聞は一見にしかず」です。自分の目で見たもの、五感で感じ取った時に得た気づきや思いを生きて行くうえで大切にしております。今回このツアーの募集を見た瞬間、参加しない理由がありませんでした。被災地をこの目で見るいいチャンス、すぐに応募のハガキを送付したことを覚えております。

被災地を訪れて思ったこと…

結論から申し上げますと、正直まだ自分の中で全てはまとまっておりませんが、今回のツアーで印象的だったことはあります。それは被災地の方々の笑顔や前向きに生きて行こうというたくましい姿でしょうか。

一方私の方はといいますと、その笑顔が最近なくなっているような感じでした。仕事では直属の先輩が10月1日に海外に転勤になり、二年目の私が全て仕事を引き継いだので分からないことだらけ。失敗の連続で最近正直余裕なんてものはありませんでした。ただ、今回のツアーで大切なものを最近忘れていたことに気づく。上記の笑顔、前向きな姿勢です。笑う門には福来たるという言葉がございしますが、被災地の方々のように笑顔を絶やさず前向きに生きないと、良いことも逃げて行ってしまうのかなとつくづく感じる。

被災地の皆様が仰るように、復興にはまだまだ時間がかかる。今回私たち参加者は被災地の現状を知った者として、何かの形で復興に携わるべきではないだろうか。関わり方は十人十色。私も今後どう言った形でという具体的なものは今の段階で申し上げられません。しかし、その使命を今回関西に持ち帰り私の今後の人生一部として心の中に留めておく必要があると感じます。

最後になりましたが、今回の東北応援ツアーに関わって頂いた全ての皆様に感謝、御礼申し上げます。

2011年10月28日

東北応援ツアー 宮城県コース参加者

北村翔（2011年 国際関係学部卒業）